

## 第2学年 生活科学学習指導案

い組 男子 19名 女子 20名 計 39名

指導者 小 蘭 博 臣

### 1 単元 見て見て 小さな生きもの

#### 2 単元について

##### (1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、1年単元「いきものとなかよし」の活動で、ウサギやニワトリと触れ合う経験を通して、動物は生命をもち、成長していることに気付いてきている。また、2年単元「さんぼ」の活動で春に見られる特徴的な植物や生き物を見つけた経験から、『もっといろいろな生き物を見つけてみたい』『生き物を捕まえて育ててみたい』という思いや願いをもつようになってきている。

そこで、本単元では、身の回りにいる生き物を採取し、育てる活動に主体的・能動的に取り組ませる中で、生き物を大切に育てたいという願いを達成していく楽しさを味わわせながら、活動への意欲を高めようとするものである。同時に、これまでの経験や調べ活動、友達との情報交換等を基に、諸感覚を使って試行錯誤しながら、自分なりに工夫して生き物を観察したり世話したりする力を培おうとするものである。また、生き物の生命や成長、すみかやえさ等の生態に気付いたり、生き物に心を寄せて大切に飼育したりすることもねらっている。さらには、これらの活動を通して、自分のよさや成長に気付かせることもねらっている。

なお、この活動は、『もっと多くの生き物に出会いたい』という願いとして、夏休み以降の「さんぼ」の活動や3年生以降の理科の学習へと発展するものである。

##### (2) 指導の基本的な立場

本校や近隣の大学構内には、雑木林や池、実習農園等があり、それらの場所で、季節に応じた多くの生き物を採取・観察することができる。子どもたちが、主体的に採取活動や飼育活動に取り組む原動力となっているのは、生き物に「応答性」があるということである。自らの手で採取し、試行錯誤しながら飼育の仕方を考え、成長を見守る一連の飼育活動の中で、他では味わうことのできない発見の喜びや成長を見る楽しみ、思いが叶った達成感が得られる。また、生き物によってすみかやえさが異なるため、互いの生き物を比べ合いながら新たな発見や疑問等をもつことができる。さらに、生き物は、毎日の世話を欠かすことができず、水を替えたり、えさを与えたりすることで、生き物の成長や変化、生命の大切さに気付くことができるものである。

このような身近な生き物を対象にした飼育活動に、子どもたちが主体的に取り組み、生き物とのかかわり合いを深めるために、諸感覚を使って、継続的に生き物を観察したり世話したりする活動を重点化し、思う存分に生き物に触れ合うようにさせたい。また、その中で、生き物の特徴を捉え、生き物の生態や成長の様子に気付き、生命を実感できるように学習を展開していきたい。

具体的には、まず、「生き物探しをしよう」の活動で、繰り返し生き物を探す活動や見つけた生き物について情報交換する活動を通して、どこにどんな生き物がいるのか分かり、自分で生き物を採取し、育てたいという思いを高めるようにしたい。その際、前単元の「さんぼ」の活動とも関連を図るようにする。次に「見つけた生きものをマップにまとめよう」の活動で、自分が見つけた生き物をマップにまとめることで、生き物によって適したすみかやえさがあることに気付かせるようにしたい。その次に「生きものを育てよう」の活動では、日常でのかかわり合いも含め、継続的に世話をすることができるように、自分の力で飼育する楽しさを味わわせたい。そのために、飼育の方法を自分なりに調べたり、すみかを工夫して作ったりできると共に、友達と情報交換させながら、よりよい飼育の仕方やかかわり方に気付くようにしたい。その際、道徳の時間との関連を図り、生き物の生命についても考えさせるようにしたい。さらに、生き物の飼育を通して気付いたことを紹介する「生きものランドをひらこう」の活動で、自分が飼っている生き物の飼育上の工夫や苦労、生

態の面白さや不思議さ等、自分なりの方法でまとめ発表し、生き物やその飼い方について気付いたことや工夫したことを、より明確に実感できるようにしたい。そして、「楽しかったことを振り返ろう」の活動で、育てた生きものを元の場所に返し、これまでの学習を振り返り、自分のがんばりや工夫に気が付き、自分の力で生き物を育てることができた自信と、今後も生き物にかかわっていきたいという意欲をもたせるようにしたい。

なお、活動の展開においては、一人一人の実態に応じた支援をし、お互いのよさに触れ合う場を設定したり、学習したことを生かせるような教師の働きかけを行ったりしながら、活動が連続・発展するようにしたい。

このような活動を通して、子どもたちは活動に没頭し、活動に対する成就感や満足感を味わうと共に、自分のよさや成長を実感し、自分への自信と自分の生活をこれまで以上によりよくしていくとする意欲を高めることができると考える。

### (3) 子どもの実態 (対象者 い組 39名、数値は延べ人数)

<p>&lt;生き物飼育への意欲とその理由&gt;</p> <p>○飼いたい(35) ○飼いたくない(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好き(17)・成長が楽しみ(4)・調べたい(4)</li> <li>・かわいい(3)・楽しい(3)</li> <li>・世話が大変(3)・怖い(1)</li> </ul> <p>&lt;飼育経験とその生き物&gt;</p> <p>○ある(32) ○ない(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カブトムシ(21)・クワガタ(13)・金魚(17)</li> <li>・ペット(伊・社)(8)・メダカ(4)・ダンゴムシ(2)</li> <li>・エビ,ウサギ,バッタ,カエル,トカゲ,ドジョウ(1)</li> </ul> <p>&lt;育てたい生き物&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウサギ(8)・メダカ(6)・ダンゴムシ(6)</li> <li>・アメンボ,チョウ,オタマジャクシ,ニワトリ,犬,カブトムシ(2)・アリ,カエル,バッタ,ヤモリ,エビ,クワガタ,モルモット,ハムスター(1)</li> <li>・工作(15)・椅子取りゲーム(8)・折り紙(5)</li> </ul> <p>&lt;学校・大学内で見た生き物&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウサギ(13)・ニワトリ(5)・カモ(5)・金魚(17)</li> <li>・ダンゴムシ(10)・カエル(5)・バッタ,チョウ(4)</li> <li>・メダカ(3)・アメンボ,エビ,オタマジャクシ(2)</li> <li>・ミミズ,ヤモリ,クモ,ハチ,ガ,蚊,ゲンゴロウ(1)</li> </ul> <p>&lt;必要な世話&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・えさやり(26)・遊んであげる(8)・土や泥(6)</li> <li>・水かえ(7)・虫かごや水槽(4)</li> <li>・葉,部屋作り,掃除,観察(2)・木の枝,わからない(1)</li> </ul> <p>&lt;気付いたことを誰に教えたいか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家の人(31)・1年生(27)・友達(14)・先生(8)</li> </ul>	<p>本学級の子どもたちは、多くが生き物を飼うことへの意欲が高く、飼育経験もあることが分かる。しかし、その飼育した生き物は、お店に売られている生き物も多く、自分で採取して育てるまでには至っていない。また、飼いたくないという子どもも数名いる。そのため、生き物探しをする中で、その生き物と触れ合ったり、知っていること等を交流し合ったりして、見付けた生き物の面白さや不思議さ等を実感させる必要がある。</p> <p>また、育てたい生き物や身の回りで見付けた生き物が多岐に渡っていることから、生き物への興味・関心は高いと考えられるが、必要な世話として、すみか作りに関する記述が少ないため、生き物の特徴をすみかと関係付けて捉えている子どもは少ない。そのため、<u>マップを作る際には、生き物の種類とそのすみかを関係付けて考えられるようにする必要がある。</u></p> <p>また、多くの子どもが気付いたことを1年生に伝えたいと考えているため、生き物ランドでは1年生に紹介する。その練習として友達と伝え合い交流する時間を設定する。さらに、家の人にも紹介できるように、生き物を観察する中で、気付いたこと等をまとめておくようにさせる必要がある。</p>
---	---

### (4) 指導上の留意点

ア 「生きものさがしをしよう」の活動では、生き物を捕まえて育てたいという思いや願いを高めるために、じっくり、ゆっくり、たつぷりと生き物とかかわることができるようにしたい。また、見付けた生き物と場所を関係付けて考えることができるように、場所ごとに色の異なる生き物カードを用いるようにしたい。また、「見付けた生き物をマップにまとめよう」の活動では、生き物は、身の回りにたくさんいることや適した環境があることに気付くことができるようにするために、生き物マップにまとめ、気付いたことを話し合うようにしたい。

イ 「生きものをそだてよう」の活動では、これまでの学習や生活経験を生かしながら、自分なりの方法で生き物を育てることができるようにするために、友達と伝え合い交流する場を設定したり、教室内に生き物に関する図書を置いたりしたい。そして、生き物を育てる中で気付いたこと

は、絵や文でかき残すようにし、単元末で振り返ることができるようにしたい。また、生命の大切さについてじっくりと考えることができるように、道徳「ハムスター（自然愛）」とも関連を図るようにしたい。なお、生き物を捕まえに行く際は、安全面への配慮から、同じ行き先の子も同士でのグループ活動にしたり、隣接学級と同時に行い複数の教員で指導したりする。

ウ 「生きものランドをひらこう」の活動では、自分の力で育てることができたことや1年生に伝えることができたことを、より実感できるようにするために、学級の友達に自分の生き物を紹介する場を設定した後、1年生を招待して生き物ランドを開くようにしたい。

エ 「たのしかったことをふりかえろう」の活動では、**自分のこれまでの取り組みのよさやがんばり、単元を通しての成長に気付くことができるように、継続してかいてきた観察カードを基に振り返るようにしたい。**

### 3 目 標

- (1) 「生き物を採って観察したい」「生き物を元気に育てたい」「自分が育てている生き物を紹介したい」という思いや願いをもとに、生き物にかかわる活動に積極的に取り組むことができる。
- (2) これまでの飼育経験や調べ活動、友達との情報交換をもとに、自分なりに工夫して生き物のすみかを作ったり餌をあげたりして、自分の生き物を育てることができる。
- (3) 生き物が生命をもち、適した環境の中で成長していることに気付くことができ、生き物に心を寄せながら大切に採取したり飼ったりすることができる。また、生き物を育てることのできた自分たちの成長に気付くことができる。

### 4 指導計画（全15時間）

活動する 楽しさ	活 動 名 (意識の高まりと気付きの様相)	主 な 学 習 活 動 ( 時 間 )	学習形態・環境構成 教師の具体的な働きかけ
○身の回りにいる 生き物を探すこと ができる楽し さ	・もっと、たくさんの生き物を見付けてみたいな。 生きもの探しをしよう (3時間)	さんぼと同じコースで、生きもの探しをして、見付けた生き物を生き物カードにかく。(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生き物を育ててみたいという思いや願いを高めるために、生き物とじっくりとかわるができるようにする。</li> <li>・ 生き物には適したすみかがあることに気付くことができるように、生き物カードの色を、見付けた場所ごとに覚えておく。</li> <li>水の中～青 草むら～緑 土の中～橙 空 中～黄</li> <li>・ 身の回りには、たくさんの生き物がいることや、それぞれに適した環境があることに気付くことができるように、マップを作った後、気付いたことを話し合う。</li> <li>・ 自分なりに、試行錯誤しながら生き物の世話をすることができるように、生き物の世話の仕方の図書を、教室内に準備しておく。</li> <li>・ 生き物の不思議さや面白さに出会わせるために、生き物の成長の過程での変化を全体で紹介していく。</li> <li>・ 自分の力で生き物を育てることができたことを実感させるために、学級内の友達に自分の生き物を紹介したり、1年生に、これまでの学習で気付いたことを紹介したりできるようにする。</li> <li>・ 活動できた自分自身のよさや成長に気付くことができるように、これまでの観察カードを基に振り返るようにする。</li> </ul>
○見付けた生き物 をマップにまと めることができ る楽しさ	・生き物を捕まえに行くために、生き物マップを作りたいな。 見つけた生きものをマップにまとめよう (1時間)	学校内で生き物を探し、見付けた生き物を、生き物カードにかく。(1) 生き物カードを、学校・大学内の大型マップに貼り付け、生き物マップを完成させる。(1)	
○自分で決めた生 き物を採取する ことのできる楽 しき	・身の回りには、生き物がたくさんいるね。 ・生き物によってすみかが違うぞ。 ・捕まえて、育てたいな。	マップを基に、自分で育てる生き物を決め、持ってくるものやどんなすみかを作るのか等、飼育計画を立てる。(1) マップを手がかりにして、育てる生き物を捕まえ、その場ですみかを作る。(2)	
○生き物を自分な りに工夫して育 てることのでき る楽しさ	生き物を育てよう (5時間)	これまでの経験を基に、生き物の観察や世話の仕方を話し合う。(1) 観察や世話をする中で、気付いたことを伝え合い表現する。(1)	
○気付いたこと を、みんなに伝 えることができ る楽しさ	・たくさんの発見があったよ。 ・みんなに教えたいな。 生き物ランドをひらこう (2時間)	生き物ランドの計画を立てる。(1) 生き物ランドを開いて、1年生を招待する。(1)	
○活動することが できた自分に気 付くことができ る楽しさ	・楽しかったことをまとめたいな。 楽しかったを振り返ろう (1時間)	これまでの学習をワークシートを基に振り返る。(1)	

## 5 本 時 (4 / 15)

### (1) 目 標

ア 『生き物を捕まえないな』『でも、どこに行けば生き物はあるのかな』という思いや願いを基に、見つけた生き物をマップにまとめる活動に思う存分浸る楽しさを味わいながら、進んで取り組むことができる。

イ マップを基に、生き物とすむ環境とを関係付け、身の回りには多くの生き物があることや、生き物には適したすみかがあることに気付くことができると共に、活動を通して、自分の考え方や取り組み方のよさに気付くことができる。

### (2) 本時の展開に当たって

友達同士の気付きを比べたり関係付けたりしながら、生き物とそのすみかの様子、えさ等に気付くことができるようにするために、**マップ完成後、じっくりとマップを見て、互いに気付いたことを話し合う場を設定する。**その中で、**気付きをつなぐようなかわり**を行う。

### (3) 準 備

大型マップ (学校・大学)、生き物カード、のり、振り返りシート、提示用写真 等

### (4) 展 開

過程	主 な 学 習 活 動	時間	教師の具体的な働きかけ
意欲をもつ	1 前時までの活動を振り返り、本時の学習について話し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物を捕まえて、育てたいな。</li> <li>・でも、生き物を捕まえるには、どこにいけばよいのかな。</li> <li>・カードを使って、マップにまとめたいな。</li> </ul> </div>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習への意欲を高めるために、生き物探しをしている様子を表した写真を提示したり、願いを達成するために必要なことは何か問いかけたりする。</li> <li>○ 子どもの思いや願いをマップ作りに焦点化するために、大型マップを提示し、マップ作りへの関心を高めるようにする。</li> <li>○ 道具の使い方や後始末の仕方等の習慣・技能を身に付けさせるために、事前に確認する。なお、しっかりと身につけていないようであれば、活動中も、気付かせるような声かけを行う。</li> <li>○ 個への対応</li> </ul>
	2 のい生きものマップをつくろう。		
活動する	2 マップの作り方を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・貼り方</li> <li>・のりの使い方</li> <li>・後始末 等</li> </ul>	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) <b>意欲的に活動している子ども</b> 意欲的に活動に取り組んでいることを称賛すると共に、その取り組み方や考え方のよさを全体に広げるようにする。</li> <li>(2) <b>活動にとまどっている子ども</b> なぜ、困っているのか問いかけ、原因を探ると共に、友達とのかかわりの中で解決できるよう支援する。</li> <li>(3) <b>早く終わった子ども</b> 活動をやり終えたことを称賛し、困っている友達はいないか気付けたり、出来上がるマップからどんなことが見えてくるか問いかけたりする。</li> </ul>
	3 マップにカードを貼り付ける。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カエルは観察池で見つけたよ。</li> <li>・トンボは観察池の上を飛んでいたよ。</li> <li>・ダンゴムシは、大学の林の下にたくさんいたよ。</li> <li>・大学の畑の草むらにバッタがいたよ。</li> </ul> </div>		
振り返る	4 完成したマップを見て、気付いたことを話し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全体と関係付けられた気付き  <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や大学にはたくさんの生き物があるんだね。気付かなかったよ。</li> <li>・観察池や田んぼ・畑には、いろいろな種類の生き物が集まっているね。</li> </ul> </li> <li>○すみかと関係付けられた気付き  <ul style="list-style-type: none"> <li>・トンボは、空を飛ぶのに、池の近くにしかいないな。池の近くが好きなんだね。</li> </ul> </li> <li>○えさと関係付けられた気付き  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンゴムシは、学習林にも大学の林にもいたんだね。両方とも、土や落ち葉がたくさんあった場所だね。ダンゴムシそんな場所が好きなんだね。</li> </ul> </li> </ul> </div>	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生き物だけでなく、<b>そのすみかやえさ等と関係付けられた気付きへと高めるために、友達の気付きをつなぐような問いかけを行う。</b></li> <li>○ 活動できた自分自身のよさやがんばりに気付くことができるように、全員の気付きによって、マップができたことを価値付ける。</li> <li>○ <b>自分の考え方や取り組み方のよさに気付くことができるようにするために、振り返りシートを用いたり、互いに発表し合ったりする場を設定し、その中でも、積極的に価値付けるようにする。</b></li> </ul>
	5 本時の活動を振り返り、気付いたことや感じたことを等を発表し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物は、それぞれ、好きな場所があるんだね。</li> <li>・生き物を育てるときは、その生き物が好きな場所をすみかとして作ってあげないといけないね。</li> <li>・早く、生き物を捕まえに行きたいな。</li> </ul> </div>		

# 生活科公開授業 I 学びの構造図

第2学年 単元「見て見て 小さな生きもの」 本時(5/15)  
授業 I 2年い組 指導者 小菌 博臣



## 1 目標

- ア 『生き物を捕まえないな』『でも、どこに行けば生き物はいるのかな』という思いや願いを基に、見つけた生き物をマップにまとめる活動に思う存分楽しむ楽しさを味わいながら、進んで取り組むことができる。
- イ マップを基に、生き物とすむ環境とを関係付け、身の回りには多くの生き物がいることや、生き物には適したすみかがあることに気付くことができると共に、活動を通して、自分の考え方や取り組み方のよさに気付くことができる。

## 2 本時の展開に当たって

友達同士の気付きを比べたり関係付けたりしながら、生き物とそのすみかの様子、えさ等に気付くことができるようにするために、**マップ完成後、じっくりとマップを見て、互いに気付いたことを話し合う場を設定する。**その中で、**気付きをつなぐようなかかわり**を行う。

## 3 準備

大型マップ(学校・大学)、生き物カード、のり、振り返りシート、提示用写真 等

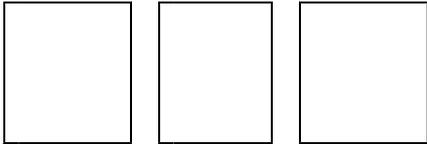
## 4 子どもの学びの想定と教師の働きかけ (学習過程・学習活動・学習形態・環境構成・教師の具体的な働きかけ)

学習過程	主な学習活動(その子なりの学びの道筋)	継続時間(分)	環境構成(活動場所・2-1教室)
意欲をもつ	<p>今までの生き物探検を振り返る</p> <p>・生き物を育てたいなあ。 ・でも、どこに、どんな生き物がいるのかな。</p> <p>2のい生き物マップを作ろう。</p> <p>生き物マップの作り方を方を話し合う。</p>	7	<p>黒板</p> <p>椅子</p> <p>学校マップ</p> <p>大学マップ</p>
	<p>カードの貼り方(習慣・技能)</p> <p>・のりの使い方 ・片付け方 ・重ね方 等</p> <p>終わった人(活動の見通し)</p> <p>・友達の手伝い ・できたマップを見渡す など</p> <p>・早くマップを作りたいなあ。</p>		
活動する	<p>友達と協力して生き物マップを作る活動</p> <p>ダンゴムシは落ち葉の下にいたよ。</p> <p>ガエルとアメンボが観察池にいたよ。</p> <p>バッタは、草むらの中にいたね。</p> <p>できあがった生き物マップを見て、気付いたことをワークシートに書き込む活動</p>	28	<p>教師の具体的な働きかけ</p> <p>T1…「生き物を捕まえて、育てたい。」という思いを高めるために、これまでの生き物探検の様子やその時の思いを想起させるようにする。</p> <p>T2…マップ作りの必要感を高めるために、生き物を捕まえたり、育てたりするには、何が必要なのかを問いかける。</p> <p>T3…活動の見通しをもたせるために、カードの貼り方についての具体的な指導をしたり、貼り付けが終わった後の活動についても話したりする。</p> <p>○ マップを作る活動における個への対応</p> <p>(1) 進んで貼り付けている子ども 意欲的に活動に取り組んでいることを称賛すると共に、その取り組み方や考え方のよさを全体に広げようとする。</p> <p>(2) 活動にとまどっている子ども なぜ困っているのか問いかけ、原因を探ると共に、友達とのかかわりの中で解決できるよう支援する。</p> <p>(3) 貼り付けが終わった子ども 活動をやり終えたことを称賛し、困っている友達はいないか気付かせたり、出来上がるマップからどんなことが見えてくるか問いかけたりする。</p> <p>○ マップを見る活動における個への対応</p> <p>(1) マップから気付きを得ている子ども その見方や考え方のよさを価値付けるとともに、全体に広げようとする。</p> <p>(2) マップから気付きが得られない子ども どこに、どんな生き物多いか、その理由は何か問いかけ、視点を与えるように支援する。</p> <p>(3) 活動が終わった子ども やり終えたことを称賛し、さらに気付くことはないか問いかけたり、友達の気付きはどんなものがあるか問いかけたりする。</p>
	<p>○他の生き物と関係付けられた気付き</p> <p>・学校や大学にはたくさんの生き物があるんだね。気付かなかったよ。</p> <p>・観察池や田んぼ・畑には、いろいろな種類の生き物が集まっているね。</p> <p>○すみかと関係付けられた気付き</p> <p>・トンボは、空を飛ぶのに、池の近くにしかいないなあ。池の近くが好きなんだね。</p> <p>○えさと関係付けられた気付き</p> <p>・ダンゴムシは、学習林にも大学の林にもいたんだね。両方とも、土や落ち葉がたくさんあった場所だな。ダンゴムシは落ち葉を食べるのかな。</p>		
振り返る	<p>生き物マップを見て気付いたことを発表し、話し合う。</p> <p>・生き物には、好きな場所があるんだね。 ・生き物の好きな場所に、えさがあるんだね。</p> <p>本時の学習を振り返る。</p> <p>・生き物マップを作って、いろんなことが発見できたね。 ・育てるには、すみかが必要だね。 ・生き物って面白いなあ。不思議だな。</p> <p>これから、やってみたいことについて発表する。</p> <p>・すみか作りをがんばりたいなあ。 ・早く、生き物を捕まえないなあ。</p>	7	<p>T4…今後、すみか作りの必要性に気付かせるために、生き物・すみか・えさの3つを関連付けるような問いかけを行う。</p> <p>T5…マップ作りを通して、活動できた自分や、様々な生き物について気付くことができた自分に気付くことができるように、本時の学習を振り返り、がんばったことや思ったことを発表させる。</p> <p>T6…今後の学習への意欲を高めるために、今日の学習を、生き物を捕まえたり、育てたりすることに、どのように生かしていきたいか発表させる。</p>
	<p>3</p>		

# 生き物を育てよ

みんなで生きもの  
マップを作ろう。

気づいたこと。



- みんなで力をあわせて。
- 同じものは上にかさねて。

- 学校にもいろいろな生き物がいるんだ。
- 生き物を捕りに行くときに役に立ちそうだ。
- 生きものにはすむばしょがあるんだ。



トンボ  
かんさついけ

学校や大学にもはいろ  
いろな生き物がいたね。

黄緑カード

草 (葉・花)

薄橙カード

土の中・上

青カード

水の中・上

黄色カード

空

トンボ → 水のあるところ → たまごをうむ。  
チョウ → キャベツのは → 青虫のエサ

生きものをつかまえにいこう。

ひつような物

- 虫かご
- 虫あみ
- スコップ